



学会ホームページ <http://jasce.jp>

046号(2018年9月27日)

目次

全国大会 事前参加申込期限延長
《速報》会長「生涯業績賞」を受賞!
国際協同教育学会 大参加申込
『協同と教育』への投稿募集中
出版情報
学会ワークショップ
開催報告
今後の予定(判明分)
各地の研究会・勉強会

全国大会 事前参加申込期限延長

事前参加申込を**10月31日(水)**まで延長します。当日受付をスムーズに運ぶため、事前参加申込、参加費並びに情報交換会参加費合計額の事前振込にご協力ください。

第15回大会HP

<https://jasce.jp/conf1501.php>

《速報》JASCE会長の杉江修治先生が国際協同教育学会の「生涯業績賞」を受賞!

Lifetime Achievement Award (生涯業績賞)は、協同学習の研究・普及に大きな功績を残した方たちに贈られる特別な賞です。過去にデービッド・ジョンソンやスペンサー・ケガンなど世界的権威が受賞しています。授賞式は3月の台北大会で行われます。

国際協同教育学会 2019

台北大会参加申込

2019年3月22日(金)~24日(日)、国際協同教育学会(IASCE)の台北大会が、日本協同教育学会との共催で開催されます。参加申込などの解

説を本大会HPに掲載していますのでご覧ください。今回は、JASCEサポート(参加費援助)に応募しなかった「一般参加」のみなさまに大会参加のポイントをお知らせします。

参加申込

1. IASCEのconferenceのサイトから、ご自分で参加申し込みと参加費のお支払いをお願いします。
2. 入力フォームに必要な事項を入力する際、Type of registration(参加タイプ)は実際に合わせて presenter または attendee を選んでください。一般参加の場合、あなたがJASCE会員であっても、絶対に3つめの「IASCE board members/Achievement Awards winners/JASCE members」を選ばないでください。

大会参加費はクレジットカード決済です。2018年12月20日までに手続きされると早期割引のNT\$ 6,275(約23,000円)が適用になります。

航空券・ホテルの予約

各自でご手配をお願いいたします。

空港

東京近辺にお住いの方は羽田空港をお勧めします。到着空港は台北松山空港が便利です。地下鉄(Brown Line, 文湖線)で会場まで乗り換えなし、短時間で行けます。桃園空港からも中心地まで電車で行けますが、少し遠いです。台北松山空港から会場までは、タクシーでもそんなに高くはありません。ホテル名を中国語で紙に書いておくとタクシーの運転手に見せるときに便利です。

ホテル

地下鉄文湖線沿線のホテルをお勧

めします。会場の国立台北教育大学は文湖線の「科技大樓駅」近くですので、アクセスが良いです。

国際大会に関するお問い合わせはJASCE国際大会支援委員会(icsc2018@jasce.jp)までお願いします。

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けています。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第14号(2018年発行)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

出版情報

●教師の協同を創るスクールリーダーシップ

編者は、協同を原理に据えた学校の改革に大きな成功をおさめた実践に数多く出会ってきました。その変化の理由は、教師の協同に支えられた教師集団の力なのですが、さらにその協同を促したリーダーの陰の力も強く感じます。本書は、学校を大きく変えた小・中学校の校長先生にその挑戦を書いていただき、さらに、それらの事例の底にある組織運営の原理まで踏み込んだものです。杉江修治、石田裕久編。ナカニシヤ出版。



JASCE

学会ワークショップ開催報告

<ベーシック>

2018年8月4日(土)～5日(日)【主催】
会場:創価大学(八王子市)
教職大学院棟 V410教室
講師:石垣則昭・関田一彦



8月4日～5日の二日間、創価大学教職大学院棟V410教室にてベーシックが開催されました。猛暑のなか北海道や名古屋などから16名が参加されました。講師はベーシック認定トレーナー資格取得のため、学会理事、関田先生のご指導を受けながら私、石垣が担当しました。運営責任者の三津村先生がスムーズな運営にご尽力くださいました。参加された皆さんの熱心さに助けられ、和やかな雰囲気の中にも多様な意見交換がなされ、深まりのある学びとなりました。一日目の夜、アドバンスに参加された皆さんと合同懇親会を行いました。楽しい雰囲気の中、協同学習の職場への導入や進め方についてあちらこちらで熱心に意見交換する姿がありました。二日目終了時、参加者はメールアドレスを交換しあい、お互いにネットワークを広げていました。(石垣則昭)

2018年8月25日(土)～26日(日)【公認】
会場:南山大学(名古屋市)
D棟D51教室
講師:長濱文与・石田裕久

8月25日(土)、26日(日)の両日、名古屋で南山大学人間関係研究センター主催の協同学習ワークショップ(ベーシック)が開催されました。参加者は34名。講師は、長濱文与先生(三重大学)と石田裕久先生(南山大学)。参加された方々からは、「実際に自分が参加者として技法を体験することでグループワークの楽しさを実感できた」「これまでうまくいかなかったと思っていたことの課題が見えてスッキリしました」「体験しながら学ぶことで、協同学習の本来の意味が理解できた」などの感想が寄せられました。



<アドバンス>

2018年8月4日(土)～5日(日)【主催】
会場:創価大学(八王子市)
教職大学院棟 V410教室
講師:久保田秀明



東京・横浜、遠くは鳥取・島根から8名の参加者が集い、認定ワークショップ・アドバンスを、創価大学教職大学院棟V309教室で開催しました。「技法を超えて行くアドバンスの学び」、「協同学習における評価」などについて活発なやり取りが行われました。

参加者からは、「授業はもちろんですが、学校や地域教育の基盤に据えていきたいと思います」、「ロープワークは、互恵的な関係を考えるのに良い題材でした。人に伝えたい知識として、学ぶ意欲が湧き、とても楽しく挑戦できました」、「地域に広めるために、今後また機会を見つけて、協同学習の研修に参加させて頂きたいと思います」等のコメントが寄せられました。(久保田秀明)

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

2018年12月1日(土)～2日(日)【主催】
会場:中京大学(名古屋市)名古屋市
学舎0号館0604教室
講師:水野正朗

<アドバンス>

22018年11月10日(土)～11日(日)【公認】
会場:南山大学(名古屋市)D棟
D51教室
講師:関田一彦・石田裕久

定員になり次第、受付を終了します。
申込み方法、ならびにワークショップ
の詳細は下記URLをご覧ください。
(<https://jasce.jp1031/workshop.php>)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

北海道アクティブ・ラーニング(協同と創造の授業づくり)研究会

◇第3回「夏季研修会」を2018年8月11日(土)9:30-15:30、天使大学(札幌市)で開催しました。講師は鹿内信善先生(天使大学)。研修内容は、「看図アプローチ」についてのワークショップ、「看図アプローチ」による授業の実際、模擬授業後のディスカッション等でした。今回の研修では参加者のほとんどが学校の先生でしたので、みなさん看図アプローチの手法に興味津々。生徒役としても、とても一所懸命に授業に参加されていました。

連絡先:大和田秀一(酪農学園大学 owada@rakuno.ac.jp)



(東北地域)

宮城協同教育を学ぶ会

◇9月9日、名取市体育館でPA(プロジェクトアドベンチャー)とのコラボレーション企画で、協同教育を学ぶ研修会を開催しました。午前中は、宮城でPAを研究する会の小川先生によるファシリテートでたくさんのアクティビティを体験しました。活動の意味付けや目的などを丁寧に説明していただきながら、どう課題解決に向けて活動を進めていくか、深く考えさせられる研修となりました。午後は、石田裕久先生から「教師のファシリテーションと生徒のパフォーマンス評価」というテーマでお話をいただきました。石田先生のお話を土台に、前半は「主体的な学び」が生まれる要件を教師のファシリテーションという視点から参加した16

名で掘り下げて考えることができました。後半は目標設定と改善プロセス、教育評価のポイント、評価の目的などについて検討し、共有することができ、とても充実した研修となりました。

(宮城協同教育を学ぶ会 事務局 菅野公司)



協同学習を学ぶ会 in 福島

◇6月9日(土)13:30~16:30、福島県郡山市の福島県立安積黎明高校で、坂本篤史先生(福島大学)をお迎えし、第2回「協同学習を学ぶ会 in 福島」を開催いたしました。今回も地元の福島はもとより北海道・宮城・栃木の各県から20名を超える方々の参加を得て、盛況のうちに終了致しました。第1回目の研究会は、関田一彦先生に「協同学習」の入門編をご教示いただきましたが、今回の研究会テーマは学習指導で『「主体的・対話的で深い学び」と授業研究～協同的な学びを支える教師の学び～』でした。動画を含めて、具体的な子どもたちの「協同の学び」の実際を研修しました。

連絡先:渡辺正雄
(協同学習を学ぶ会 in 福島 世話人 nrc38822@nifty.com)

(名古屋・東海地域)

Learning Design Community
(静岡県)

◇8月6日(月)、午前10時から午後4時30分、第13回勉強会を聖心女子大学で開催しました。テーマは「専門家の学習共同体『組織学習』をつ

くる」、目標は「実践の『組織的・省察的・協同的・継続的改善』の方向:同僚性のある学ぶ組織を目指す」でした。参加者は10人。午前中に2件の授業研究発表と質疑応答を行い、昼休みの実践資料交換会をはさんで、午後は聖心女子大学 益川弘如先生の講演とワークショップ「授業を変えてくてもテストが!という現状を変えて授業を変えて欲しい」でした。付きたい力をしっかり評価できているのかという視点で設問の「問い」はどの様なものが良いのかを考えることからワークショップは始まり、「問題を解く」とは「知っている知識の適用」ではなく「新たな学びの機会」と捉えたいというまとめになりました。

◇次回は12月1日(土)午前10時30分から「学びのイノベーションフォーラム『葦山サミット』」というイベントを葦山高校志龍講堂(伊豆箱根鉄道「葦山駅」徒歩15分)で開催します。参加希望の方は以下の「こくちーず」からお申し込みください。

(<https://www.kokuchpro.com/event/7198c7030deaf3e3d6674780dce86d08/>)

事務局:鈴木映司(静岡県立葦山高等学校)



名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇2018年度7月例会を7月27日(金)午後7時から名古屋大学教育学部 共通講義棟、第2講義室で開催しました。参加者は28名。テーマは、「主体的な対話の成立-子どもの自由発言を手がかりに(小学校4年生国語:初雪の降る日)」、発表者は平間幸二

JASCE

先生(元小学校教諭・中部大学非常勤講師)。ベテラン教師の授業づくり、学級づくりの素晴らしさ、自由発言を成立させる方法、そして、それらの背景にある、子ども一人ひとりを大切にする教育観から、参加者は多くを学ぶことができました。

連絡先:水野正朗(東海学園大学
mizunokita@yahoo.co.jp)



協同学習と動機づけ研究会 (三重県)

◇平成30年8月4日(土)14:30~18:00の日程で三重大学教育学部1号館多目的ホールにおいて第3回研究会(2018年度第1回研究会)が開催されました。

第3回研究会には23名の参加者がありました。三重大学教育学部の中西良文の動機づけを構成する要素についての簡単に紹介するオープニングに続いて、三重大学教育学部南学先生によりゲーミングについてのセッションが開かれました。メンバーがそれぞれに持つカードの情報をもとに箱を並べていくという課題で、参加者は課題解決に向けて白熱しました。次のセッションでは、三重大学教養教育院長濱文与先生より「協同学習の要件について考える:肯定的相互依存について」というテーマで話題提供があり、社会的相互依存理論についての理解を深めました。3番目のセッションでは、三重県立桑名西高等学校の石田正寿先生から、生徒自身に学習

の仕方を教えるという「学習法講座」の実践についての紹介があり、グループでの議論が行われました。研究会全体を通し、最初のセッションから参加者のみなさまの没頭が続く感じであり、盛んな議論や情報交換がなされました。

連絡先:中西良文(三重大学
nakanishi.yoshifumi@mie-u.ac.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇9月28日(金)開催予定の研究会には28名の参加受付をしています。今回のご発表は、①日本看護学教育学会第28回学術集会(2018,8,28-29)で交流セッションを開催された(テーマ:協同学習導入に向けて~学習環境づくり~アクティブ・ラーニングを目指した協同学習の実践報告)鈴木先生、織田先生、武信先生、内田先生、堀川先生と、②室住実恵先生の授業実践報告です。各発表者から提示されるディスカッションテーマについて協同学習の技法を用いて話し合い、看護教育における協同学習の意義や学生の確かな学びを実現するための授業の在り方について理解を深め合っていたと考えています。

◇2018年度の開催予定

場所:グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタルThe Lab アクティブスタジオ

時間:19時~21時、日程:2018年、9月28日、2019年1月25日、3月29日。
※今年度の11月は、第15回大会開催月のため開催しません。

参加申込み先:緒方巧(梅花女子大学
t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇今年度の第2回協同学習研究会を9月1日に開催しました。発表者は、津市立中央小学校の神田豊先生。小学6年生の算数授業「場合を順序よく整理して」の授業映像をストップモーション方式で(=場面ごとに区切りながら)視聴し、神田先生の授業からどのような実践知を見出したかを参加者同士で議論し、実際にはどのような思いを持ち、何を考えながら授業を進めたのかを神田先生に解説して頂きました。

◇2018年度の開催予定

場所:岡山大学教師教育開発センター東山プランチ

時間:14時~17時30分、日程:2018年12月1日、2019年3月2日。

連絡先:高旗浩志

(岡山大学教師教育開発センター
takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇次回の開催は、10月13日(土)13時~17時、会場は学生会館3階ミーティングルーム3です。主な内容は実践・研究報告、和田珠実先生(中部大学)「LTDによる初年次英語リーディング授業の活性化-自己効力感を中心に」、甲原定房先生(山口県立大学)「ゲームを用いた授業とそのアレンジ」です。研究会終了後、懇親会を開催します。参加希望者は、協同教育研究所「結風」のHPから申し込んでください。

協同教育研究所「結風」のHP
(<http://yuikaji.me/wiki.cgi>)

連絡先:安永悟
(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

各地でワークショップや研究会が精力的に行われています。学会HPでご確認ください。

また、会員による実践研究会等の開催がありましたら広報委員会(koho@jasce.jp)まで情報をお寄せください。

会員による投稿記事「ショートレター」を募集します。広報委員会(koho@jasce.jp)に原稿をお送りください。